

☆鳥取)「統括」看護師を配置 養護学校問題

朝日新聞デジタル 鳥取 2015年8月6日

<http://www.asahi.com/articles/CMTW1508063200002.html>

> ◆鳥取養護学校問題で県教委

非常勤看護師6人全員が辞職を申し出て後任を十分確保できず、医療的ケアが必要な児童・生徒の一部が通学できなくなった県立鳥取養護学校(鳥取市)。県教委は対策の一環として、非常勤をまとめる常勤の看護師を配置し、学校医らとケアの内容を調整させる案を検討し始めた。県教委の特別支援教育課によると、案は、常勤看護師を1人配置して非常勤看護師の「統括・指導役」とし、保護者や主治医、学校医らとケアの内容を調整する「医療的ケアコーディネーター」の役割を担わせるというもの。

米子市内で7月30日に開かれた「県特別支援学校における医療的ケア運営協議会」(会長＝仲野真由美・鳥取看護大准教授)の今年度第1回会合で説明したところ、「教育現場をよくわかった看護師でないと定着しない」「ある程度判断・対処する権限を与えるべきだ」「教員側にもコーディネーター役が必要ではないか」などの意見が出た。

ケア時に事故が起きた時の学校と看護師の責任があいまい、との指摘もあった。

案には学校医とは別に校長に助言する「スーパーバイザー」の設置を盛り込んだ。重度の障害児が就学先を決める際、小児科医や臨床心理士らでつくる県教委の「教育支援チーム」が検討し、市町村教委を指導・助言してきたが、このチームに「医療的ケア担当」として、脳神経小児科医や看護師ら4人を加え、スーパーバイザーとする。

県教委は協議会の意見を踏まえて案を修正し、9月の次回会合で了承を得る方針。県は常勤看護師の人件費を9月補正予算案に計上することを検討している。

特別支援教育課によると、7月30日現在、鳥取養護学校が確保した非常勤看護師は夏休み明けの8月26日時点で2人、9月1日時点で3人。全児童・生徒の通学再開は厳しい状況が続いている。足立正久課長は「引き続き確保に全力を挙げる。そのためにも常勤看護師の役割を明確化し、応募しやすい状況をつくりたい」と話した。

…などと伝えています。

△平成27年度第1回特別支援学校における医療的ケア運営協議会の開催について

鳥取県教育関係・報道提供資料 2015年07月27日提供

<http://db.pref.tottori.jp/pressrelease2.nsf/webview/CBB4504D4354092249257E8C003A8A16?OpenDocument>

>>・当日の資料などは公開UPされていません

・H26年度の同協議会の報告

<http://www.pref.tottori.lg.jp/secure/183990/houkokua.pdf#search='%E9%B3%A5%E5%8F%96%E7%9C%8C%E7%89%B9%E5%88%A5%E6%94%AF%E6%8F%B4%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%8B%E5%8C%BB%E7%99%82%E7%9A%84%E3%82%B1%E3%82%A2%E9%81%8B%E5%96%B6%E5%8D%94%E8%AD%B0'>

△医療的ケアを行う看護師等及び特別支援教育支援員の現状について

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課

平成27年3月20日初等中等教育分科会チーム学校作業部会参考資料1

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/052/siryo/_icsFiles/afieldfile/2015/06/09/1358477_04.pdf

☆特別支援学校：常勤看護師を配置へ 支援チーム拡充案も 米子で運営協／鳥取

毎日新聞 2015年08月02日 地方版

<http://mainichi.jp/edu/news/20150802ddlk31100403000c.html>

> 特別支援学校での医療的ケアを考える今年度第1回の運営協議会が7月30日、米子市糞町1の県西部総合事務所であった。県内の県立特別支援学校や看護協会の関係者ら12人が参加し、医療的ケアコーディネーターやスーパーバイザー（SV）の配置について協議した。

5月に看護師が一斉辞職した県立鳥取養護学校（鳥取市）の問題に触れ、県教委の田中規靖次長が「学校組織としての体制や連携にまだ課題はある」と指摘。県教委は、ケアが必要な児童生徒が在籍する学校に常勤看護師を配置し「医療的ケアコーディネーター」として看護師のまとめ役とする案と、就学先決定に関して助言や指導をする既存の「教育支援チーム」の業務をケア内容にまで拡充しSVの役割とする案を提示した。

委員からは「学校の中での医療なので、教育現場を理解したコーディネーターが必要」「（SVの）制度はよくても実態としては難しいのでは。前段階として市町村での教育相談の体制作りが必要」などの意見が出た。

平井伸治知事は同日の定例記者会見で、鳥取養護学校に常勤看護師1人を配置する予算を9月補正で盛り込むことを明らかにした。倉吉養護、皆生養護学校にも来年度からの配置を検討する。

…などと伝えています。

△知事定例記者会見（2015年7月30日） 鳥取県HPより

<http://www.pref.tottori.lg.jp/250242.htm#12>

> 12 鳥取養護学校への常勤看護師の設置について

○毎日新聞 真下信幸 記者

養護学校の職員の件なんですけども、不勉強で申し訳ないんですけども、9月の補正予算で県として1名の常勤の費用を賄うということなんですけど、これまでは県教委さんが負担していたものに加えて1人加えるということなんでしょうか。

●知事

これは、どのみち県の単独で置くということになると思います。ですから、県教委の負担というのは県の負担でありますので、国の補助金はないけれども、負担金はないけれども県として配置をします。おそらく予算自体は通年はでないんですかね、400万ぐらいかなと思いますが、そのぐらいのこう、ポケットを我々の方でも用意をして、それで県教委の方でそれを使ってもらおうということになろうかと思います。この常勤の看護師という発想は、やっぱりどうしてもコーディネートが難しいことがいろいろございます。

そういうときにいろんな非常勤の看護師もいらっしゃる中でそれを束ねて、それで適切な医療ケアをするという責任者として看護師を常勤で雇用するというのが良いのではないかというアイデアでございまして、今の問題事象にアプローチをして、これは保護者の皆さんや子どもたちにとってもいいことになりましょうし、看護師、働く看護師さんにとりましても安心できる体制にもつながるということで、教育委員会と話し合いをさせていただきました。

○毎日新聞 真下信幸 記者

これは確認なんですけども、この前の退職のいろんな騒ぎを受けてということで受け止めでよろしいのでしょうか。

●知事

はい。そういう事象がございましたので、私の方で教育委員会にかねてこうした体制について投げかけ

をさせていただきました。それで今日付けで大綱を定めさせていただきますが、その大綱の中の短期的事業としてもこの体制整備を盛り込みましたので、教育委員会側と合意ができたということになろうかと思っています。

***鳥取養護学校へ常勤看護師配置、鳥取県が予算を検討**

朝日新聞 医療サイト 2015年8月1日

<http://apital.asahi.com/article/news/2015080100020.html>

> 県立鳥取養護学校（鳥取市）で非常勤の看護師全員が辞職を申し出て医療的ケアが必要な児童・生徒の一部が一時通学できなくなった問題を受け、県は9月補正予算案に同校に常勤看護師1人を配置するための人件費約400万円を計上することを検討している。平井伸治知事が30日の定例会見で明らかにした。

県は同日、「教育に関する大綱」を策定し、学校看護師を統括する常勤看護師の配置を盛り込んだ。平井知事は「倉吉養護や皆生養護は新年度に向けて検討を進める」とし、ほかの特別支援学校へも常勤看護師を配置する考えを示した。

…などと伝えています。

※ もうすぐ2学期もスタートするのに、この状態ではって思うのは僕だけでしょうか？

「上」からの方針だけでなく、現場教職員や保護者も含めた、抜本的な視点をを持たないと常勤看護師配置だけでは、また同じことが繰り返されるようなことになるのではないかと危惧しますが。何より子どもたちの障害や発達に見合った教育内容を、安全・快適な学校生活を保障するのが教育行政の責務ではないかあと思いますが。（医ケアネット事務局：中畑）